

リトルワールドキャンプ 19

久しぶりの会

活動報告書

令和4年 12月

静岡県立大学公認クラブ

リトルワールドキャンプ実行員会

1. はじめに

私たちは、例年12月に静岡県立大学にて、同窓会というものを行っています。今回は「この会を堅苦しいものにしたくない、子どもにも分かりやすく、呼びやすいイベント名にした」という思いから、会の名前を「再会を喜び、さらに仲を深める」という意味を込めて「久しぶりの会」として開催することとしました。この久しぶりの会は、夏のキャンプに参加してくれた県内の小学生を招き、キャンプを振り返りながらレクリエーションを通して親睦を深めることを目的として開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症流行の中、多くの人たちのご協力もあり、無事外国にルーツをもつ子どもたちとともに二泊三日のキャンプを行うことができました。

今回の久しぶりの会は、子ども15名(日本の子ども13名、ブラジルにルーツをもつ子ども2名)、大学生スタッフ23名と通訳ボランティア2名が参加し開催されました。

2. 活動内容

久しぶりの会では、「久しぶりの会」、「体を動かすレクリエーション!」、「キーホルダー・クリスマスリース作り」、「お別れの会」の4つのプログラムを行いました。

まず、「久しぶりの会」では、初めに8月に行ったキャンプの振り返り動画をみんなで鑑賞しました。この鑑賞会ではキャンプで行ってきた活動や仲間たちとの思い出を振り返ることができました。「あんなことがあったよね」など仲間たちと笑顔で話し合いながら見る鑑賞会は、久しぶりに会った



子どもたちの緊張をほぐすとても大切な時間になりました。その後、ジャストワンゲームとバタタケンチゲームを行いました。ジャストワンゲームとは、チームの子どもたちがほかの子どもと被らないようにヒントを出し、回答者がそのヒントをもとにお題を当てるゲームです。さらにこのゲームでは、ほかのメンバーとヒントが被らないように、自分独自のヒントを考える必要があります。独自性のあるヒントを一生懸命に考える真剣な姿がみられました。回答者がヒントから答えを出した時には全員が飛び跳ねるように喜んでいたので、絆がさらに深まったと思います。また、バタタケンチゲームというブラジル版の爆弾ゲームを行いました。このゲームは、日本の爆弾ゲームとは違い、ボールを熱いジャガイモに見立てて回していきます。負けてしまったときの悔しさが前面に出ている姿を見て、子どもたちの感情の豊さを感じました。会の最初のプログラムということで緊張している子が多い中、それを解消する素晴らしいプログラムでした。

次に「体を動かすレクリエーション!」を行いました。このプログラムでは、ポーズ合わせゲーム、なんでもバスケット、箱の中身は何だろなゲームを行いました。ポーズ合わせゲームでは、ほかのメンバーとポーズを合わせるために以心伝心を心がけなければなりません。そのため、相手が何を考え



てどのポーズにするのかを自然と考えさせられることで、結果として協調性を磨くことができたのではないかと感じています。また、相手のことを考えるとともに、答え合わせの際に自分とは違うポーズを取った人を見て、「そういう考え方もあったのか」と視野を広げてもらえる良い機会になったとも考えます。次になんでもバスケットを行いました。このゲームでは椅子に座れなかった人はみんなの前で質問をしなければなりません。みんなの前で質問をするのは、大学生でさえ、勇気をともなうことであると思います。しかし、自分とは年の離れた子どもたちが、そんな難しい状況に勇敢に立ち向かっていました。スタッフ一同、そんな姿を見て、勇気づけられたことを鮮明に覚えています。最後に、箱の中身は何だろなゲームを行いました。このゲームでは、二人ペアとなり、目を隠し、箱の中身が何かを当てます。普段から触っているものであっても、目を隠した途端になにか分からなくなり、困惑する姿が見られました。しかし、周りの子どもたちの助けを借りることで、なんとか正解にたどり着いていました。子どもたちのチームワークを高める良いレクリエーションでした。

「体を動かすレクリエーション!」の後、「キーホルダー・クリスマスリース作り」にプログラムが移りました。キーホルダー作りでは、自分のお母さん・お父さんに向けて送るキーホルダーを作りました。普段お世話になっている人に感謝を届けようと一生懸命に絵を描いている姿はとても素敵でした。また、クリスマスリース作りで



は、ほかの人が思いつかないような独創的なアイデアで飾りつけをしている子が多くいました。また、スタッフや友達と協力し合いながら工作に励む姿がとても微笑ましかったです。物を作るということから人と人をつなげられるとても心温まるプログラムでした。

最後に行われた「お別れの会」では、ジェスチャーゲームと写真撮影を行いました。ジェスチャーゲームでは、少し恥ずかしがりながらも楽しそうにジェスチャーをする子どもの姿がとても微笑ましかったです。回答者以外の子どもは擬音語を使い、ヒントを伝えることで言語の壁を越えて楽しむ



ことができている。写真撮影では、これで久しぶりの会が終わってしまうことに口惜しさを感じながらも、この会を通じてさらに仲良くなれた友達と一緒に写真撮影をしている場面がとても記憶に残っています。「別れ」への暗いイメージを感じさせない活気のあるプログラムでした。

今回、この短い時間で仲間たちと多くの体験をし、さらに仲を深めることができたこと、また笑顔で楽しんでいる子どもたちの姿を見ることができたことに大きな達成感と喜びを感じました。久しぶりの会閉会の後に、子どもたちから「今日の会がすごく楽しかった!」「来年のキャンプも絶対行くね!」「また会おうね!」と声をかけてもらったことで、これからも最高のリトルワールドキャンプにしようという気持ちがより強まりました。

今後ともスタッフ一同全力で頑張っていきますので、応援のほど何卒よろしく願います。

《活動協力者》

- ・堀内 アリッセ 泉 様
- ・デ モライス リリアン 様

《お問い合わせ・ご質問》

静岡県立大学公認クラブ リトルワールドキャンプ実行委員会

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学 リトルワールドキャンプ

Email little_world_camp@yahoo.co.jp

HP <http://littleworldcamp.jimdo.com/>